

学習会にご参加を！

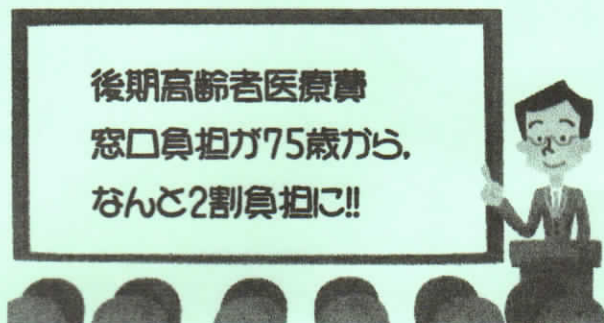
なぜ後期高齢者医療費窓口負担が2割化なのか！？

1970年代の老人医療費は無料でした。2008年から始まった後期高齢者医療制度により、医療費の窓口負担が75歳の誕生日から1割負担に。

2012年に「社会保障制度改革促進法」が施行され、高齢者人口が増え医療費の増額が進むなか、政府は医療保険の負担の公平性・財政の健全化を理由に、厚労省内に「全世代型社会保障検討会議」をもうけ、75歳以上の後期高齢者の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げる案を検討し、21年度の予算案に計上する予定です。

窓口負担が2割になりますと、年金を命綱とする年金生活者にとっては大きな負担増となり、体調が崩れても受診をひかえて病状悪化などが懸念されます。

そこで、いまコロナ禍のなかでなぜ窓口負担の2割化なのか、今後の医療費はどうなっていくのか、講師から説明を聞き、疑問を出しあって大いに学んでいこうと学習会を計画しました。是非ご参加下さい！



記

日時：12月15日（火）午後2：30～5：00

会場：中央駅前地域交流館（1号館）・2F会議室1と2

講師：岩崎 勇氏（全日本年金者組合千葉県本部執行委員長）

参加費：無料

（60名用の会場ですが、コロナ感染予防のため先着30名まで）

主催：全日本年金者組合 印西・栄支部

連絡先：090-2733-9210（神澤光子）